

小中学校の卒業アルバム作成に1万円の補助を

党区議団など 八名が条例提案

六月議会に党区議団などが小中学校の卒業アルバム作成へ教育委員会が補助するよう条例提案しました。

内容は、卒業アルバム作成に際して一人につき一万円を補助するものです。

党区議団は、保護者の方々から「アルバム作成は、卒業生の人数によって単価が上がったりする」「小規模校だと二万円以上かかる」との要望を受けて提案したものです。この数年間のアルバム作成を見て、卒業生が多い学校では一万二千円前後ですが、少ない学校では一万六千円から二万三千円を超える費用です。

卒業アルバムは、子どもたちにとって様々な思い出と大切な成長の記録になります。

早期に実現できるようにがんばります。ご意見をお寄せ下さい。

本会議で、国保財政の危機打開を求める、「少人数学級の実施を求める」二つの意見書(党区議団提案)が全会一致で採択

共産党議員団が提案し、十六日の議会最終日の本会議で全会一致で採択された二つの意見書を、全文掲載いたします。

「少人数学級」を実施することを求める意見書

学力の低下、学級崩壊などの「学校の荒れ」に心を痛める父母や学校関係者は、丁寧な学習と生活の指導ができ、子どもたち一人ひとりが学習面でも生活面でも主人公になれる、「少人数学級」の実現を願っています。こうした全国各地でのとりくみと世論に押され、すでに国においては二〇〇一年度に、都道府県の権限で四十人以下の「少人数学級」にすることができるよう義務教育学校標準法を改正し、さらに昨年四月から、少人数授業やのチームティーチングのために加配されている教員定数を「少人数学級」に使っても

よいとする「弾力化」に踏み切りました。また、新年度からは、加配教員を自由に「少人数学級」に使えるようになりました。しかし、これは「少人数学級」を広げていくうえでの一歩前進にすぎません。根本的には、「四十人学級」という国の基準をあらため、全国の自治体が計画的に「少人数学級」を実施できるように、国が財政面でも責任を果たすことが必要です。

今般の中央教育審議会特別部会の報告案でも、次期の公立義務教育諸学校教職員定数改善計画で「少人数学級も含めて少人数教育の充実を図る方策を検討する必要がある」としています。よって港区議

重度要介護高齢者に 手当を支給する条例を提案

今議会の最終日(六月十六日)に、議員八名(オンブズ一票の会・二名、共産党議員団・六名)が共同して、「港区重度要介護高齢者手当」を議員提案しました。

ねたきり状態の高齢者に月々五万五千円の高齢者福祉手当(ねたきり手当)が支給されていましたが、介護保険制度が導入されたことを理由に、東京都が〇三年度末、港区が〇四年度末で廃止してしまいました。

提案した条例は、介護度、介護度の高齢者で、在宅で生活している人に、月一万円の介護手当を支給するものです。

各会派に条例案を示し、共同提案を呼びかけたところ、オンブズマンみなと・一票の会の二名が共同提案

者になり、共産党議員団六名とあわせ、八名で条例提案しました。自民党、公明党、民社クラブなどは共同提案者にはなりませんでしたが、今後、保健福祉常任委員会で審議されます。



よって港区議会は、国として「少人数学級」の実施に踏み出すことを強く求めるものです。



国民健康保険財政の危機を打開するための意見書

国民健康保険制度は、国民皆保険の中で、他の保険制度に加入していないすべての国民を対象とするものです。

このため、国保加入者の所轄水準は他制度と比較して著しく低く、無職者の占める割合は五割を超えています。高齢者比率の上昇や、国保加入者の保険料負担率は限界に達しています。

よって港区議会は、国民健康保険制度の安定的な運営のための財政措置、財政基盤強化のため、国保発足時の負担率になるよう努められることを国に求めるものです。

裏面もご覧ください。

日本共産党
港区議員団ニュース
2005年6月号外('05年度2定特集)
発行:港区芝公園1-5-25
☎(3578)2945~6
ホームページ: <http://www.jcp-mi-natokugi-dan.gr.jp> 携帯用QRコード

青山・西麻布にコミュニティバスの運行を求める請願

全会一致で採択されました

区内交通不便地域への対応を求める付帯意見も

今議会に提出された「青山・西麻布地域に早急にコミュニティバスの運行を求める請願」(青山 赤坂にコミュニティバスを走らせる会：代表 高橋礼之氏)が、六月十六日の本会議で全会一致で採択されました。

日本共産党区議団は、みなさんと一緒に、引き続き早急にバスが運行されるようがんばります。

「青山・赤坂にコミュニティ

バスを走らせる会」のみなさんは、青山・西麻布地域に早急にコミュニティバスの運行を求める請願」署名に取り組み、千二百十二名の署名を添えて区議会に請願書を提出し

ました。「走らせる会」のみなさんは、平成十五年第一回定例区議会に「青山・赤坂に住民の足となるバス路線の確保を」との請願を提出し、それが採択されました。しかし、昨年

建設委員会では、高橋礼之さんが、「利用している人は大変喜んでいて。バス停の距離が短く、高齢者は外出する機会が増えている。お風呂に行くなど生活の上でバスは必要」、「青山・西麻布などに



区長に要請する住民のみなさんと風見区議(左端)

十月から区内で二路線の運行がはじまりましたが、請願で求めていた運行はされませんでした。その後も区議会に「請願」をしました。が、自民党、民主クラブ、公明党などによって継続扱いにされてい

ました。今回あらためて、日常生活する上でなくてはならない足として「青山・西麻布地域に

も早急に運行を」と補足説明をしました。その後、審議が行われ全会一致で採択され、本会議でも全会一致となったものです。また、「青山・西麻布を含め、港区全域の交通不便地域への路線の見直しと再編も視野に入れ、今後のコミュニティバスの運行を推進されたい」との付帯意見も付

芝プール建て替え・フットサル場3面設置へ

芝浦中央公園には来年1月開設

六月区議会に芝プールの建て替えの工事契約が提案され議会で決定しました。プールとフットサル場三面の工事(約七億七千万円)が行われ、来年のプール使用時期には開設。フットサル

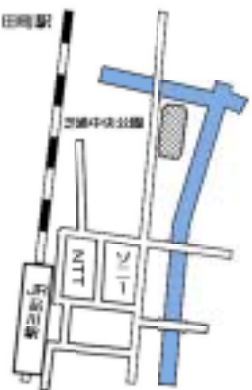
区議会には、フットサル場設置を求める請願が昨年二月に提出され、区民文教常任委員会で審議してきました。「民間のフットサル場は一時間で一万五千円も費用がかかり利用できない」などの実態が明らかになりました。日本共産党区議団は、区内の設置可能な場所の選定と早期設置を求めてきました。区教育委員会は、候補地として、芝浦中央公園、芝プールをあげ準備が進んできたものです。今後、開設に向け、青年が気軽に利用できる利用料金を求めていきます。



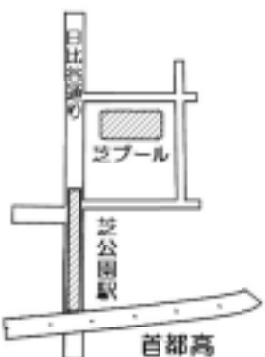
芝プール フットサル場完成予想図(=港区提供)



場は、プール使用期間以外の時期(来年九月)に利用できます。また、芝浦中央公園には、フェンス設置の設計と工事が行われ、年内に工事完了、来年一月には使用できます。



芝浦中央公園



芝プール